

福島工業株式会社

証券コード:6420

# FINE!

株主・投資家の皆さまへ

第64期 期末報告書

2014年4月1日~2015年3月31日

**Fukushima** 

フレッシュ・バリューをあなたとともに

# トップメッセージ



企業理念

環境・安全・安心をテーマに「幸せ創造企業」を目指します。

## 第1項 生活者の幸せ

わたしたちは、環境・安全・安心をテーマに、お客様と協働し、生活者の「幸せ」に寄与することを基本使命とします。

## 第2項 お客様の幸せ

わたしたちは、独自の技術とシステムにより、フードビジネスに新しい価値を創造し、お客様の「幸せ」に貢献することを基本使命とします。

## 第3項 社員の幸せ

わたしたちは、自己責任能力を高め、自身と社業の成長を通じて、物心両面の「幸せ」を追求することを基本使命とします。

## 第4項 株主・お取引先の幸せ

わたしたちは、将来への目標を共有し、常に業績向上に努め株主やお取引先に「幸せ」を提供することを基本使命とします。

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社第64期の事業活動の概況を、ご報告申し上げます。株主の皆様には、引き続きご支援、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

代表取締役社長 **福島 裕**

## 人間性を善くするNo.1技術力で社会に貢献!

### —第64期を振り返って—

当期は、政府による経済・金融政策等の効果により、緩やかながら景気回復基調が続きました。しかしながら、消費税の増税に加え、急激な円安による輸入原材料価格の高騰や電気料金の値上げなど、経済環境は依然として不透明な状況で推移いたしました。

そのような中、今年度は、消費税増税の駆け込み需要の反動減で4、5月は厳しい滑り出しとなりましたが、通期では増収増益を確保することができました。事業別では、ショーケース事業は、ここ数年は省エネ需要で改装案件が増加傾向にあり、前年比105%と伸びは鈍化したものの、着実に売上を伸ばすことができました。特に、食品スーパーを中心にESCO事業や改装案件が増加し、5年間でショーケース売上が倍増するなど、当社成長の原動力となりました。また、冷凍冷蔵庫事業では、駆け込み需要の反動減が4、5月だけにとどまり、6月以降は回復基調となったことから、売上は前年比102%の微増となりました。中でも、高齢化を背景に病院や老健施設、給食センターなどの物件は増加傾向が見られました。次に、サービス事業は、関西サービスセンターの設立やサービス・技術人員の増強などメンテナンス体制の拡充を図った結果、売上は前年比105%となりました。また、海外事業については、新しく設立したベトナムやタイの販売子会社の売上が寄与し、売上は前年比119%と増加いたしました。

今後もASEANを中心に拡大していく考えです。

以上から、今年度の売上高は646億2千3百万円（前年同期比104.2%）、経常利益70億8千1百万円（前年同期比106.4%）となり、過去最高の数字を達成することができました。

### —今後の課題—

次年度は、円安による原材料価格の高騰や光熱費の高騰から個人消費が低迷するなど先行き不透明な状況が続くものと思われませんが、以下の課題に注力し、売上増大・シェアアップに取り組んでまいります。

- ① 冷凍冷蔵ショーケース販売では、全国の販売網、サービス・工事施工力を活かし、生活者の暮らしを支える食品スーパーのカバー率をアップし、食品スーパーの皆様と一緒に生活者を支援してまいります。
- ② ESCO事業とエネルギー管理システム(Bems-you)を積極的に提案し、導入店舗の拡大を図ります。また、お客様と一緒に節電・省エネに取り組む、社会と顧客に貢献してまいります。
- ③ コンビニやドラッグストア、小型食品スーパーへの販売を推し進め、製品開発だけでなく、店舗トータルで提案できる体制を強化してまいります。
- ④ 冷凍冷蔵事業では、サービス、プレハブ冷蔵庫を絡めてユーザー顧客を増客するとともに、病院や老健施設など高齢化社会の食事提供を支えるハード・ソフトを構築してまいります。

⑤ エンジニアリング事業を強化し、当社独自技術の確立や大型案件の受注、販売力強化でシェアアップを図るとともに、パネル事業、トンネルフリーザー事業、コンベアライン事業とのシナジーの拡大を図ります。

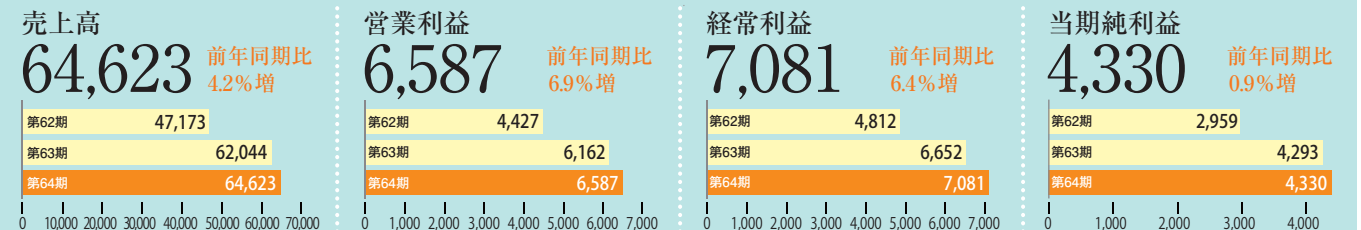
⑥ 岡山工場・滋賀(水口)工場・彦根工場・北京工場の生産能力を高め、需要増に対応できる生産体制を構築いたします。また、タイに業務用冷凍冷蔵庫の製造工場を立ち上げ、アジア市場での売上拡大を図ります。

⑦ 製品の生産・販売だけでなく、製品を活用するサービスを含めたシステムを創造・販売するサービスタイゼーション事業を推進するとともに、関西に続き関東にサービスセンターを立ち上げ、CS(カスタマーサポート)とSB(ストアビルダー)の一貫体制で顧客満足の向上を図ります。

⑧ 独自の食品安心技術を国内だけでなく、中国をはじめとするアジア諸国に広め、海外売上を拡大してまいります。また、北京工場の生産性・工事施工力・サービス力の向上により体質強化を図ります。

今後も、No.1技術力を磨き社会に役立つ価値を創造し、国内市場だけでなく、ASEANを中心に海外にも食の安全・安心を提供してまいりますので、株主の皆様には今後ともなお一層のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

第64期連結決算 (単位:百万円)



# 特集



多彩な事業を展開し、お客様のニーズに応える。

## 納入事例紹介



### 導入事例.1 飲食店

株式会社バルニバービ様

### スポーツと食と健康を結ぶ、「鹿屋アスリート食堂」の厨房設計・施工を担当。



#### 鹿屋の良質な食材を、東京・大阪で。

「鹿屋アスリート食堂」は、株式会社バルニバービ・国立大学法人鹿屋体育大学・鹿児島県鹿屋市からなる、産学官連携プロジェクトです。鹿屋の良質な食材を使用した、鹿屋体育大学講師監修の「スポーツ栄養学」に基づいたメニューを、バルニバービ様がバランス定食として提供しています。一汁一飯三主菜の定食で、美と健康づくりをサポートします。2014年、鹿屋市に一号店を出店。その後、開発本部として直営店を開業。6月には東京本店、今年に入り丸の内、両国、森ノ宮、品川に出店されております。フクシマでは、今後も店舗のコンセプトに合わせた厨房機器、設計をご提案いたします。



“ふたつと同じ店は造らない”をモットーに、大阪・東京で53店舗の飲食店を出店している「株式会社バルニバービ」様。フクシマでは、業務用冷蔵庫・製氷機・プラストチラーをはじめ厨房機器の導入から、厨房設計・施工、アフターメンテナンスまでをご用命頂いております。今回は、2014年にオープンした「鹿屋アスリート食堂」についてご紹介いたします。



### 導入事例.2 食品加工センター

株式会社いちまる様

### より高い衛生基準を備えた、精肉ミートセンターをフクシマが設計。



#### グループ連携をとり、理想のプランを実現。

「フクシマさんは、とにかくレスポンスが早かったです。工期の短さを理解し、スピーディーに対応していただいたことは、とても心強かったですね」と斎藤部長。本案件は、2014年8月にスタートし、11月にオープンするという、わずか3ヶ月の工期でした。フクシマでは、工期を短縮するため、全体設計と冷設空調関連は福島工業エンジニアリング事業部、断熱パネルと建具関連はFSPが担当。グループ連携をとることで、理想どおりのミートセンターが完成いたしました。

#### 会社を改革する、精肉ミートセンターへ。

新しいいちまる精肉ミートセンターは、仕入れから加工、パッキング、保管、出荷までの一連の作業をワンウェイで行えるレイアウトに設計。精肉の加工作業が行われるクリーンルームには、高度な空気清浄機能を発揮するHEPAフィルターや、外部から汚染された空気の進入を防ぐ空調システム等を導入しました。また、肉の変色を抑え鮮度を保つため、照明は全てLEDにする等、徹底的に衛生基準を高めました。「衛生基準を高め、商品の日持ちが良くなったことで、廃棄ロスの削減も可能になりました。また、労務環境の改善にもつながっています」と斎藤部長。この新しい精肉ミートセンターを起点に、いちまる様の“消費者の安全”と“会社を改革する挑戦”は、続きます。

#### 衛生にこだわり、消費者の安全を守る。

北海道帯広を中心に、地元密着型スーパーを14店舗展開している「株式会社いちまる」様。昨年、全店舗の魚介や野菜、精肉を一括して取り扱っていた生鮮食品の加工センターから、精肉工場を独立させることに。精肉ミートセンターのリノベーションは、いちまる様の斎藤部長を筆頭に行われました。斎藤部長は、前職で、東日本大震災で甚大な被害を受けた食品加工工場を復活させた手腕の持ち主。フクシマでは、斎藤部長の「より高い衛生基準にこだわった、クリーンルームを配した設計」を実現するため、打ち合わせを重ねました。



断熱パネルで構築したクリーンルーム



クリーンルーム内の室温をコントロールする集中温度制御盤



コールドドラフト対応のソックダクト



冷蔵設備はすべて福島工業製



### 導入事例.3 スーパー

株式会社阪食 阪急オアシス上本町店 様 (大阪市中央区)

## 幅広い世帯に対応した、 都心型「高質食品専門館」が完成。



### 全てのカテゴリーに、強いこだわりを。

店内は、高質食品専門館ならではの充実した品揃え。青果は、産直の「おひさん市」の他、関西は「ネギにうるさい人が多い」そうで、ネギ等は7~8アイテムを用意。キノコ類は、名前も売っていない品種も揃えています。水産コーナーは、長崎直送の鮮魚がメイン。加工品は「鮮魚鮭」「魚惣菜」「自家製干物」の他、旬の魚種を使った「漁師飯」等も新規導入しました。畜産は、鹿児島県・小川牧場産の黒毛和牛を販売。豚肉は、信州高原豚を中心商材としています。生鮮品のメインは、「おかずバイキング」のあるデリカとパンのコーナー。ピザ等も予想以上の売れ行きということです。

### “阪急ブランド”を、上本町で確立する。

上本町店周辺は、交通が便利で、病院等のインフラも整っている地域です。近隣には、オフィスが多く、単身家庭のニーズも見込めることから、弁当やできたて惣菜も豊富に取り揃えています。新築マンションの建設が相次ぎ、人口密集地となった上本町。フクシマは今後も阪食様のサポートを続けます。

### 感性の高い、顧客に応える品揃え。

阪食様は、京阪神で「街中のマルシェ」をコンセプトに、出店攻勢を続ける企業です。フクシマでは、2015年2月2日にオープンした「阪急オアシス上本町店」の出店をサポート。店舗の半径500m圏は、30~40歳代の比率が35%、単身世帯数が51%と高いことから、売り場は、シニアをはじめ、感性の高い顧客層をターゲットにしたつくり。すぐに食べられる、少量、簡単、おいしいといった、単身世帯にも対応した商品群を強化しました。



木のぬくもりを存分に活かした  
おひさん市



産地直送の魚を「活け干物」に  
干物乾燥機

### 導入事例.4 海外事業

イオン株式会社 様

## 安全・安心・快適な売場で、 ベトナム市民に支持されるスーパーへ。



### きめ細やかなサービスで、 「創造的な売場」が実現できました。

福島工業様には、1号店・2号店の売場設計とゾーニング計画からショーケースの配備まで現地でご献身的なご対応をいただき、「創造的な売場」の実現に多大な貢献をいただきました。現地事情に配慮した「きめ細かいサービス対応」にも感謝しています。今後においても、省エネ対応やハイテク技術の駆使など新しい分野での進展サポートを期待しています。



イオンベトナム 西峠 泰男 社長

イオンベトナム1号店は、2014年1月、ホーチミン市に「初の郊外型ショッピングセンター」として開店。近隣商圏人口130万人の人口密集エリアに位置し、昨年1年間のショッピングセンター来館客数は1400万人を超え、盛況に営業を続けています。当初、ほとんどのベトナム消費者は、慣れ親しんだローカル市場で食品を購入することが多く、スーパーマーケットの評価は劣っていました。このような状況で、イオン様は「安全・安心な食品の提供」と「快適で便利な買物環境」を実現することで、差別化を目指しました。フクシマでは、その思いに応えるため、より快適に買物ができる売場設計とゾーニング計画、ショーケースの配備をご提案。きめ細やかなサービスで、ご満足いただける店舗が完成いたしました。



# トピックス~NEWS~

## 新製品 外食店舗での飲料保冷用に最適、 キュービックリーチインショーケース

居酒屋やカフェ等、外食店舗での飲料保冷用に最適です。細かい温度設定が可能で、漏電遮断器の標準装備や感電防止電源プラグを採用することで、安全性も向上しています。また、全6機種のうち最も有効内容積が多い機種では、ビール瓶の最大収納本数が中瓶180本、大瓶148本もの大容量になっています。



CRC-080GLWSR  
2015年4月発売

## 新製品 発売省エネ性能がアップした、 インバーター制御 ヨコ型冷凍庫

当社のヨコ型業務用冷凍庫のラインナップに、「インバーター制御タイプ」が新登場しました。年間消費電力量が従来製品よりも約20%ダウンしており、省エネ性能が向上。14種類のバリエーションとなっています。



AYC-152FM  
2015年6月発売

## 新製品 チップアイスメーカーを 発売

当社の製氷機ラインナップに、「チップアイスメーカー」が新登場しました。消費電力や使用水量を抑え、省エネを追究。また、扉上部からのほこりや水滴が庫内に入りにくい、扉の開閉がしやすい構造になっています。



FIC-A100CT  
2015年7月発売

## 展示会 第15回 厨房設備機器展に出展し、 フクシマブランドをアピール

2015年2月17日(火)~20日(金) 東京ビックサイト

ホテル・旅館・外食・給食・弁当サービス業の方のための合同展示会。「外食コーナー」では、話題の熟成肉保管庫やワインセラーを展示。「冷却調理実演コーナー」では、当社製品での急速冷却・急速凍結により安全で美味しく調理する方法をご紹介いたしました。今年は、延べ1700名様以上のユーザー様に、当社製品に興味を持っていただけました。



## 展示会 第49回 スーパーマーケット・ トレードショー2015に 今年も出展

2015年2月10日(火)~12日(木) 東京ビックサイト  
スーパーマーケットなど、食品流通業界や小売業界を対象とした「スーパーマーケット・トレードショー」。当社は、環境に対応した内蔵型冷凍リーチインショーケースやCO2冷却システム、昨年度に省エネ大賞 経済産業大臣賞を受賞した「Bems-you」の紹介等を行いました。



## 展示会 第24回 国際製パン製菓 関連産業展(モバックショー)に 出展しました

2015年2月18日(水)~21日(土) 幕張メッセ  
ベーカリー機器として、低温発酵庫やサンドウィッチコールド等の紹介を行いました。また、パティスリー機器として、ショコラエージングストッカーやブラストチラー、内臓アイランドケースなどを提案し、多くの製菓・製パン関連のユーザー様から期待のお声をいただきました。



## タイ工場を建設

アジアにおける業務用冷凍冷蔵庫の生産拠点として、タイ(ラヨン)に製造工場を建設いたしました。平成27年7月より稼働いたします。

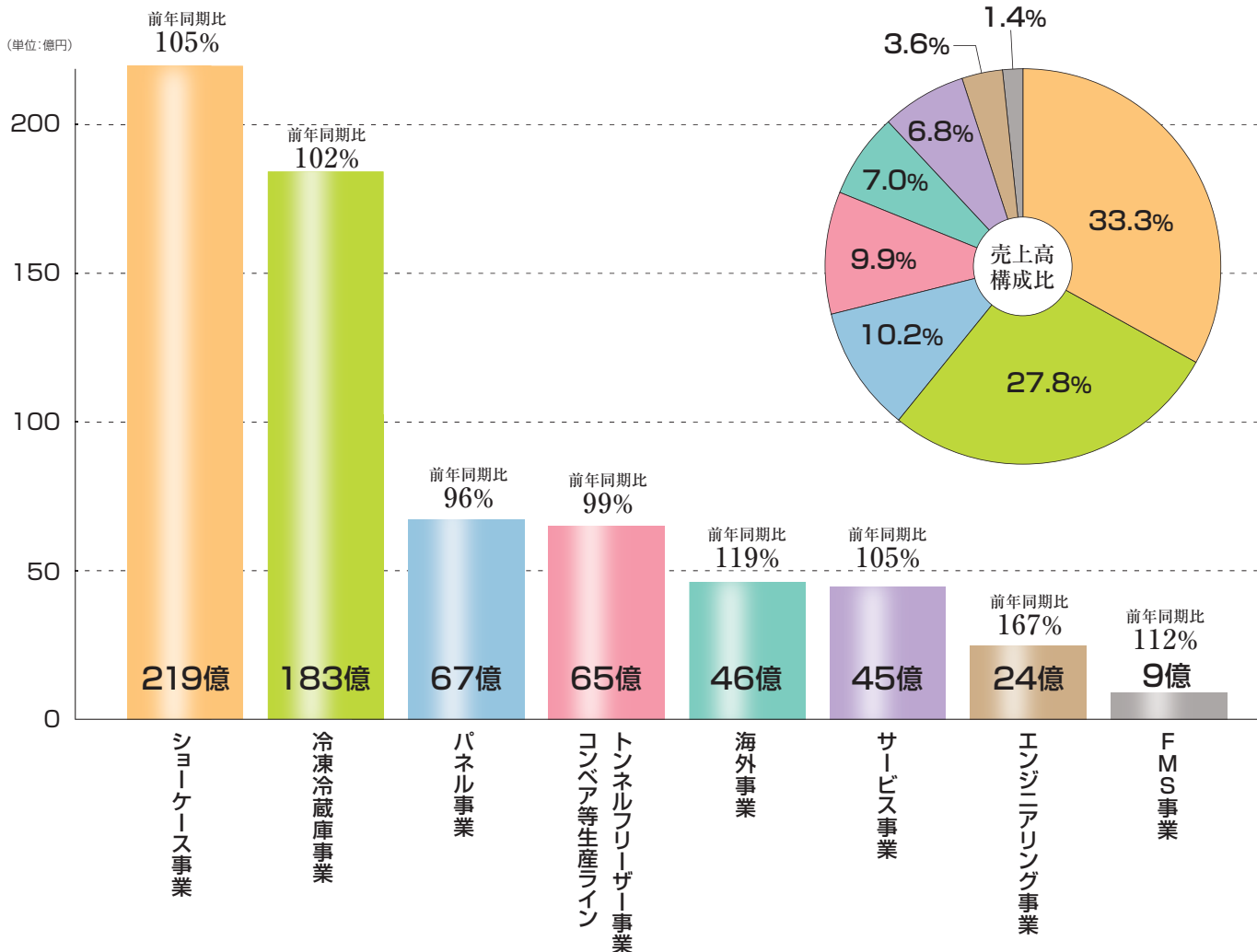


## 株主優待制度を導入

株主の皆様の日頃のご支援に感謝するとともに、当社株式への投資の魅力を向上させ、より多くの株主様に中長期的に保有していただくことを目的に、株主優待制度を導入。1単元(100株)以上保有の株主様へ、2,000円分のQUOカードをお送りいたします。



# 事業別売上高



オープンショーケース



汎用業務用冷凍冷蔵庫



製氷機



トンネルフリーザー



メンテナンス・サービス

エネルギーマネージメントシステム (ベムス・ユー)  
Bems-you

# 連結財務諸表



## 連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日現在)	当連結会計年度 (平成27年3月31日現在)
<b>資産の部</b>		
流動資産	40,064,911	44,677,551
固定資産	14,104,844	17,860,264
有形固定資産	8,449,686	9,750,381
無形固定資産	129,211	181,587
投資その他の資産	5,525,946	7,928,296
<b>資産合計</b>	<b>54,169,755</b>	<b>62,537,816</b>
<b>負債の部</b>		
流動負債	21,760,400	24,639,295
固定負債	2,798,066	2,661,637
<b>負債合計</b>	<b>24,558,467</b>	<b>27,300,933</b>
<b>純資産の部</b>		
株主資本	27,930,960	31,953,677
資本金	2,760,192	2,760,192
資本剰余金	3,062,430	3,062,430
利益剰余金	22,379,500	26,402,372
自己株式	△ 271,162	△ 271,317
その他の包括利益累計額	1,375,920	2,918,398
その他有価証券評価差額金	1,343,193	2,685,277
為替換算調整勘定	85,521	267,757
退職給付に係る調整累計額	△ 52,795	△ 34,637
少数株主持分	304,407	364,806
<b>純資産合計</b>	<b>29,611,288</b>	<b>35,236,883</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>54,169,755</b>	<b>62,537,816</b>

↑Point.1

### Point.1

受取手形及び売掛金が増加したこと、売掛債権回収により現金及び預金が増加したことによる、流動資産の46億1千2百万円の増加と、土地等の有形固定資産の取得及び株価の上昇により投資有価証券の時価評価額が増加したことによる固定資産の37億5千5百万円の増加により、資産合計83億6千7百万円の増加となりました。

### Point.2

省エネ設備への買い替え需要から食品スーパーの施工が増加し、食品工場向け大型冷蔵庫や食品プロセスセンター、食品加工工場などの大型物件も増加したことなどにより、売上高は昨年同時期に比べ25億7千9百万円増加し、646億2千3百万円となりました。

### Point.3

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、税金等調整前当期純利益を68億5千5百万円計上し、投資活動や財務活動に17億8千4百万円使用した結果、前連結会計年度末に比べ30億8千9百万円増加し、199億5千6百万円となりました。

## 連結損益計算書

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成25年4月1日から 平成26年3月31日まで)	当連結会計年度 (平成26年4月1日から 平成27年3月31日まで)
売上高	62,044,097	64,623,585
売上原価	46,516,179	47,982,274
売上総利益	15,527,917	16,641,311
販売費及び一般管理費	9,364,917	10,053,926
営業利益	6,162,999	6,587,384
営業外収益	582,583	575,497
営業外費用	92,603	81,382
経常利益	6,652,979	7,081,499
特別利益	418,732	—
特別損失	—	226,451
税金等調整前当期純利益	7,071,712	6,855,048
法人税、住民税及び事業税	2,659,817	2,621,807
法人税等調整額	39,954	△ 138,368
法人税等合計	2,699,772	2,483,438
少数株主利益	78,800	40,765
当期純利益	4,293,139	4,330,844

↑Point.2

## 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成25年4月1日から 平成26年3月31日まで)	当連結会計年度 (平成26年4月1日から 平成27年3月31日まで)
営業活動による キャッシュ・フロー	3,997,185	4,518,935
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 801,139	△ 936,791
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 213,429	△ 847,363
現金及び 現金同等物に係る換算差額	244,347	354,457
現金及び 現金同等物の増減額	3,226,964	3,089,238
現金及び 現金同等物の期首残高	13,640,481	16,867,445
現金及び 現金同等物の期末残高	16,867,445	19,956,684

↑Point.3

記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

## Information

### 会社概要

商号	福島工業株式会社
本社	〒555-0012 大阪府大阪市西淀川区御幣島3-16-11
設立	昭和26年12月8日
資本金	27億6千万円
従業員数	連結:1,501名 単体:1,125名(準社員除く) 2015年3月現在

### ネットワーク

支社	東日本(東京)、中部(名古屋)、西日本(福岡)
支店	札幌、東北(仙台)、信越(新潟)、関東(さいたま)、横浜、千葉、静岡(静岡)、北陸(金沢)、関西(大阪)、京都、阪和(南大阪)、神戸、岡山、広島、四国(高松)、西南九州(長崎)、沖縄
営業所	旭川、函館、帯広、青森、盛岡、秋田、郡山、山形、水沢、長野、松本、宇都宮、高崎、水戸、つくば、西東京、厚木、甲府、沼津、浜松、豊橋、三重、岐阜、富山、福井、滋賀、北近畿、奈良、和歌山、難波、西宮、姫路、鳥取、松江、福山、山口、徳島、松山、高知、北九州、久留米、佐賀、大分、佐世保、熊本、宮崎、鹿児島、石垣
サービスセンター	関西(大阪)
工場	滋賀(水口)、岡山
グループ会社	国内:高橋工業株式会社、フクシマトレーディング株式会社、FSP株式会社、株式会社省研 海外:香港、台湾、シンガポール、韓国、上海、マレーシア、北京、タイ、ベトナム 海外工場:北京合弁工場、タイ工場

### 役員

代表取締役社長	福島 裕	監査役	竹内 博史
取締役副社長	福島 亮	監査役	吉田 広務
専務取締役	福島 豪	監査役	手川 明映
常務取締役	片山 充		
取締役	長尾 健二		
取締役	水谷 浩三		
取締役	藤川 隆夫		

### 株式のご案内

決算日	3月31日
定時株主総会	毎年6月下旬に開催
配当金受領 株主確定日	3月31日 なお、中間配当を実施する場合の確定日は9月30日
上場取引所	東京証券取引所 市場第一部
公告掲載方法	当社の公告はホームページ <a href="http://www.fukusima.co.jp/ir/advertise.html">http://www.fukusima.co.jp/ir/advertise.html</a> に掲載いたします。
株主名簿管理人および 特別口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理 事務取扱場所	大阪府中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	0120-782-031

### ホームページをリニューアル!

より便利に、より見やすく、ホームページをリニューアルいたしました。  
最新情報、デジタルカタログ等、コンテンツを充実していきます。どうぞご期待ください。

<http://www.fukusima.co.jp/>

